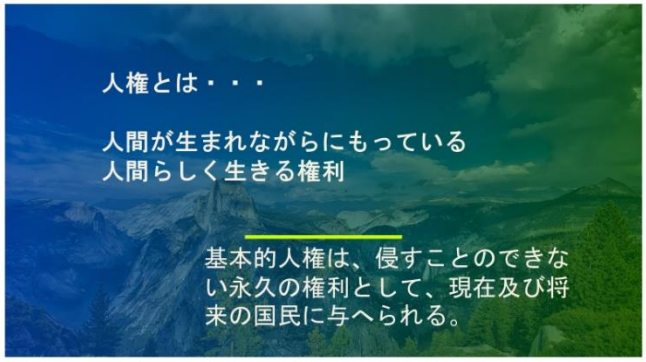
三心を磨く

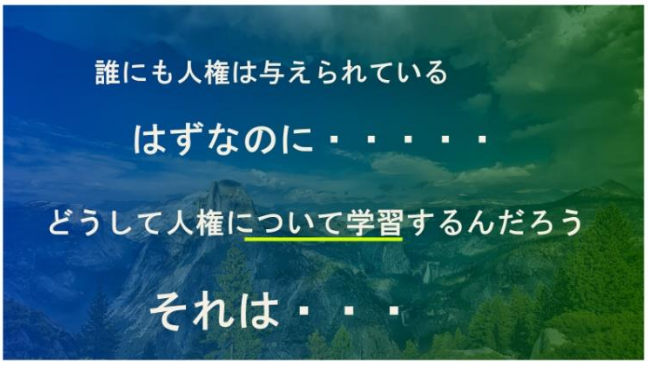
学校だより No. 3
令和５年６月９日（金）発行
須坂市立東中学校
文責：　　（教頭）
http://www.azuma-school.ed.jp/

◇◇◇６月７日の校長講話より◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

今日は、前期人権教育月間にかかわる話をします。

「人権とは？」５月３１日に人権集会が行われ、JRC 交流委員会が中心となって、東中人権宣言が発表されました。人権とは？人権は法律でも定められている、誰にでも与えられているもの。与えられているはずのものなのに、なぜ学習しているのでしょうか？それぞれの思いから考えてみてください。





コンビニエンスストアでの出来事です。車椅子のお客さんに、店員さんがある言葉をかけました。

「ほかのお客さんの迷惑になるから出ていってください」。

このお客さんは、善光寺の御開帳に九州から訪れていました。

「私はお店に入ってはいけないの？」

「買い物してはいけないの？」

「私は邪魔なの？」と

考えたそうです。もう、長野には来たくないと思いました。

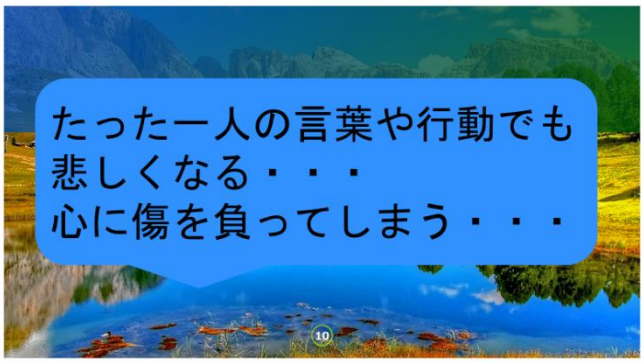
店員さんがかけたこの言葉、車椅子の方にかける言葉として合っているのでしょうか？

これは、差別につながる言葉ですね。「車いすの人がいると、ほかのお客さんの迷惑になってしまうな」という考えは、偏見につながる考え方です。

たった一人の言葉や行動で、人は心に傷を負ったり、悲しくなったりしてしまうものです。

３年生は、来年アルバイトをする人がいるかもしれません。もし、自分がアルバイトとしてこの店員さんと同じ立場だったとしたら、皆さんはどんな言葉をかけましたか？

もし、店長さんから、そのような言葉をかけるよう指示されたとしたら、皆さんはどうしますか？



人権を考えるとは、他の人の人権を奪っていないか、自分の周りの方の人権は守られているのかを考えること。つまり、「自分について考えること」だと思います。

【生徒の振り返り・感想より】

〇同じ人間なのにあんな心無いことを言えるんだろうと思った。お手伝いしましょうか、お困りごとはありませんかなど声をかけてみてあげればいいのに。

〇自分は気を付けているつもりでも、こんなに学校で人権のことについてやるってことは、まだ考えなくてはいけないっていうことだから、自分で何ができるかを考えるきっかけになった。

〇人権とは生まれ持ったもののはずなのに、なぜ障害を持っている方などへの差別・偏見があるのだろうかと改めて考えられた。「人権を学習する期間」＝「自分の気持ちなどとの向き合う期間」と言われて、とても納得した。

〇一人の行動、一つの言葉で人を傷つけて、やった人は忘れても、やられた人は一生忘れることはないと分かりました。だから、考えていきたいと思いました。

◇◇◇５月３０日：第１回学校運営委員会が行われました◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

学校と地域が連携して子どもを育てる取り組みとして、学校運営委員会を開催しました。区長さんなど地域にお住まいの方、学習支援ボランティア代表の方、PTA 役員の方など、12 名の運営委員さんをお招きし、短時間ではありましたが様々な立場からお話をしていただきました。学校、生徒皆さんの頑張る姿に応援やアドバイスをいただくと共に、さらに発展させていくための取組や課題を共有していただきました。年間４回の開催を予定しており、次回は学校祭の様子を参観いただきます。

◇◇◇壮行会の応援を胸に　夏季大会始まっています◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

６月２日、台風による大雨が予想されたため、日程変更をしながらの実施となりましたが、夏季大会壮行会が行われました。３日の北信陸上を始めとして、中体連大会が開催されています。

今年度も２年生応援団が中心となり、練習を重ねてきました。当日は、吹奏楽部演奏の後押しもあり、選手の皆さんにエールが届き、大会や試合の場で大きな支えとなっていくことでしょう。

応援を胸に、力を出し切れるよう選手の皆さん、頑張ってください。

◇◇◇保護者の皆様へ（お願い・お知らせ）◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

５月１３日（土）、早朝より PTA 作業が行われました。大勢のお父さん、お母さん方にご参加、ご協力いただきました。校舎周辺、プールやグラウンドの環境整備（落ち葉集め）、花壇の整地や定植作業準備が中心となる作業内容でした。日頃手のまわらない部分の環境整備をしていただき、大変助かりました。有難うございました。２回目は９月１０日（土）に予定されています。ご協力、宜しくお願いいたします。